





多様化するワークスタイルやインテリアに柔軟に対応しつつ長く愛用できる設計と、環境負荷の少ない素材を取り入れた、サステナブルなカジュアルチェアです。

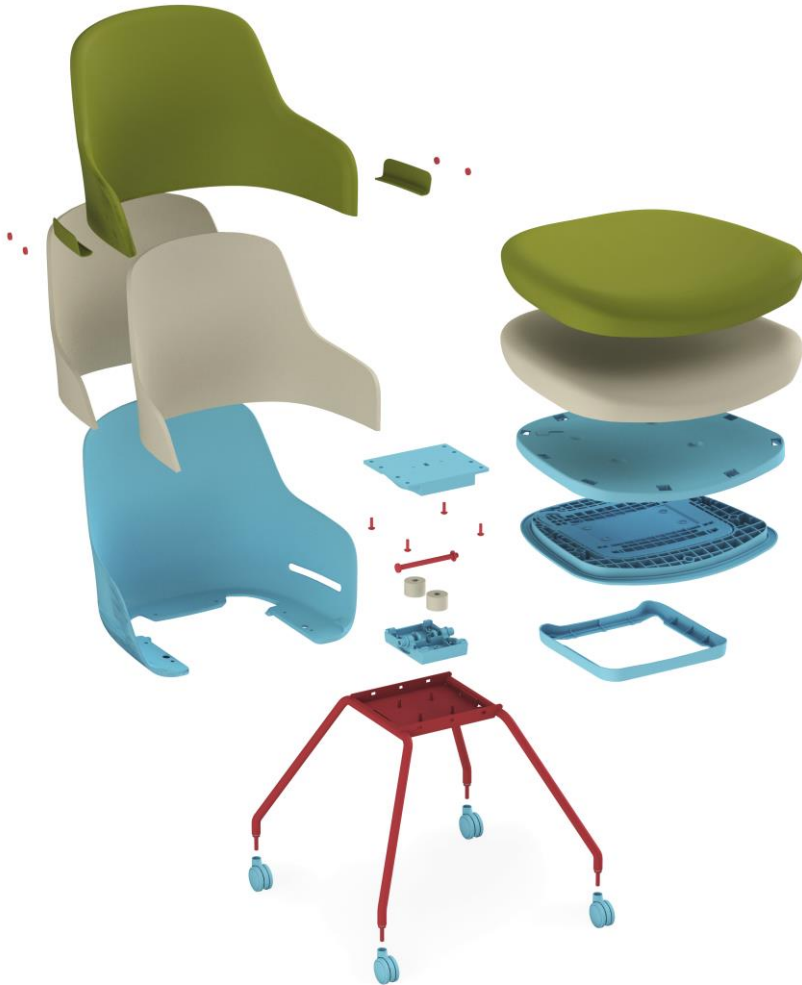
環境へ配慮した素材活用

12:つくる責任つかう責任

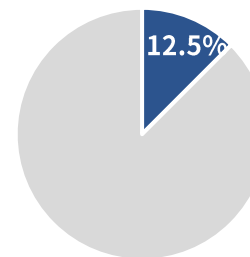
製品の廃棄時に少しでも多くの素材のリサイクルを可能とするため、できる限り単一素材に分解できる製品設計としています。
再生樹脂を積極的に採用し、バージン資源の使用削減に努めています。

素材

	熱硬化性樹脂	7.6%
	熱可塑性樹脂	50.9%
	スチール	36.4%
	合成繊維	5.1%

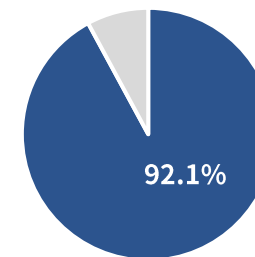


再生樹脂使用率



製品に使用している樹脂のうち、再生樹脂の割合。(重量比)

単一素材分解率



単一の素材に分解ができると、製品の使用後にリサイクルをしやすくなります。

ロングライフ設計

商品をロングライフ化するプラットフォーム 「Co・S・M・O Concept」

12:つくる責任 つかう責任
13:気候変動に具体的な対策を

複数のシリーズをプラットフォーム化し、必要に応じて組み換えや交換が可能なシステム「Co・S・M・Oコンセプト」を採用しています。構造体は高い耐久性を持ち、デザインや機能ユニットはニーズに合わせてアップデートしながら、永く心地よく愛用いただけるロングライフ設計です。各ユニットは環境への配慮を高めた設計を行い、軽量化や最小化により物流時のCO₂低減へも貢献します。

環境へ配慮した素材活用

- 樹脂シェルの一部に、農業廃棄物であるパーム油の搾り房（非可食部）を再利用したバイオマスプラスチックを使用しています。従来なら廃棄される素材を活用することで石油資源の使用を低減することを目指します。バイオマスプラスチックは、石油由来のプラスチックと比較して、二酸化炭素排出量が少ない素材です。
- 座面にリサイクル素材のチップモールドウレタンを使用しています。



CO₂排出量の低減

物流時のCO₂排出量を低減するノックダウン設計

13:気候変動に具体的な対策を

製品の一部分が分解された状態で出荷し、納品時に組立を行います。梱包サイズを最小化し、輸送時のCO₂排出量削減に貢献しています。



12:つくる責任 つかう責任
13:気候変動に具体的な対策を

梱包資材のリユース

商品を保護する緩衝材などの梱包資材の回収・リユースに取り組んでいます。

Certification（認証等）

グリーン購入法適合商品

12:つくる責任 つかう責任

2001年4月1日から施行された「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」に定められた特定調達品目および判断基準を満たした商品です。



サーキュラーエコノミーの取り組み

12:つくる責任 つかう責任

「SUTENAI CIRCLE」のコンセプトに基づく「捨てない工夫」を取り入れた商品です。「捨てない社会」に貢献する商品の拡充を推進しています。

